



佐藤講師から口腔ケアのコツを学ぶ職員

口腔ケアの目的とコツを確認

職員研修を実施しました

在宅サポートセンター生田の職員セミナーがこのほど、当センターで開催されました。「高齢者の口腔ケアと嚥下」をテーマに開催されたセミナーには、介護職二十名が参加。町田デンタルクリニック

ニックの佐藤真理子歯科衛生士が講師を担当しました。セミナーでは口腔の基礎として、咀嚼の機能と唾液の働きなど「食べる」機能についてスライドを通して確認しました。このあと、

飴玉を舌下に入れ、たまま水を飲むことで、義歯の不具合による粗食と嚥下の障害を体験したり、認知症の高齢者で口を開けてくれない場合に口を開けて

もらう簡単なコツなどを学びました。佐藤講師からは、誤嚥性肺炎を防ぐブラッシングの基本など、ケアの重要性を学びました。

火事だ！ 厨房から出火を想定

グループホームで通報訓練と避難誘導訓練



④消防署への通報訓練を行う職員
⑤水消火器を使って消火訓練

当センターでは、火災を検知した場合に、消防署に通報する

た場所をモニターで確認することができま

は、昼間に一階厨房から出火したとの想定で行われました。火災報知機が鳴ったことを合図に、職員一名が消防署に通報。住所や出火場所、入所者数などを伝える電話連絡の対応をチェックしました。

あわせて実施された避難訓練では、グループホームに入居しているご利用者も参加。「火事

に誘導されながら無事に避難を完了することができました。

この後、駐車場で水消火器による消火訓練を行いました。訓練後には、消防署の係官より、入居者を避難させる際には、避難出口に遠い居室から避難誘導することや、スタッフ同士が誰を誘導するのかを声かけ確認するなど、被害を極力抑えるためのポイントが指摘されました。

もしもの時に備えて

被害を最小限に食い止めるポイントを共有

在宅サポートセンター生田の消防訓練がこのほど、当センターのグループホームで実施されました。訓練には、グループホームだけではなくデイサービスからも職員あわせて六名が参加。川崎市多摩消防署からも署員三名が指導に訪れました。



「火事だ」と声かけしながら、職員が手分けしてご利用者を避難誘導しました

だ、起きて、早く避難して」と避難を促すスタッフ

ひびき通信

平成 27 年
4 月版

介護報酬改定について意見を交換

グループホーム響運営推進会議開催

グループホーム響の運営推進会議がこのほど、当センターにて開催されました。同会議は、地域住民や家族の方々とのケアの情報を共有し連携を図ることを目的に隔月で開かれています。

この日の会議には、町内会長や老人クラブの会長をはじめ家族の方など十名が参加。管理者から最近の状況報告があったあと、四月一日から改定された介護報酬について、減額となった報酬の影響などについて意見を交換しました。

ひと足早くお花見

生田のお花見スポット 須賀神社の枝垂れ桜



デイサービス響とグループホーム響では歩行リハビリを兼ねて、地元の氏神様である須賀神社におでかけしました。境内にある枝垂れ桜はほぼ満開。ご利用者たちは、ぽかぽかの日差しを浴びながら、ひと足早く満開となった桜の木の下で春を満喫していました。

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

発行日：2015 年 4 月 1 日
発行所：日本ケア創造株式会社

発行者：岸 忠宏
住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

デイサービス響 居宅介護支援事業所 響
グループホーム響 宅老所「ほっと生田」